

アーチルニュース ちえなっぴ

発行元：仙台市発達相談支援センター 〒981-3133 住所 仙台市泉区泉中央2丁目24-1

TEL：022-375-0110 Fax：022-375-0142 e-mail：fuk005410@city.sendai.jp

<http://www.city.sendai.jp/kenkou/hattatsu/gaiyou>

＝東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます＝

アーチルの窓から外の公園を見ると、ピンクや赤紫・白色のツツジが満開で、ほっと心を和ませてくれます。早春、外のみぞれを見つつ、ホッカイロを貼りながら「寒い、寒い…」と話していた、あの時から早2か月、桜の記憶も朧で、もうすぐ初夏を迎えようとしています。あの3月11日の東日本大震災、そして、4月7日の余震と、皆さまいかがお過ごしだったでしょうか。

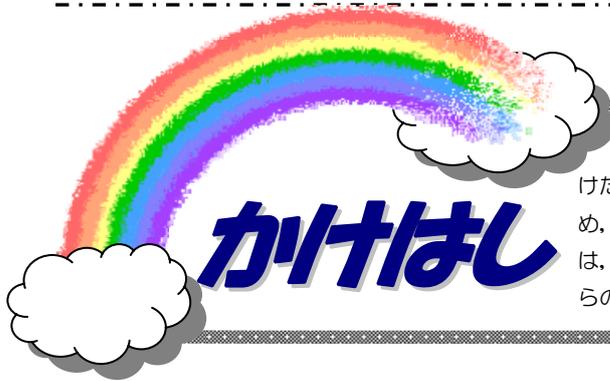
先日開催された「ここねっと」のシンポジウムで、東日本大震災の振返りと今後の発達障害児者への支援についてお話をさせていただく機会を得ました。そこで話題提供したものから、発達障害児者の状況と支援について述べさせていただきます。

震災直後、低年齢の発達障害児の多くは、保護者の方のご実家や親戚を頼り、仙台市を離れていたようです。学齢期の方は、保護者の方が避難所でパニックになることを恐れ、多くが避難所には行かずに破損した自宅や車中で過ごされていました。成人の方々は、地域の通所施設でそのまま数日宿泊したり、またヘルパー同伴で避難所生活をした方もいたようです。震災直後の発達障害の方々は、思っていた以上に落ち着いていて、家族を励ましたり、家の片付けや水汲み等の家事の手助け等、隠れた「力」を発揮したようです！！

全体として発達障害児の方々は、避難所ではなく在宅で過ごす方が多かったことで、「水や食料等の必要な物資が手に入らない」、あるいは「必要物資の運搬や障害児の見守りにボランティアを活用したい」、「日々通園・通所している施設や学校を早期再開して欲しい」等々、ご相談やご要望をお聞きしました（ガソリンもでした・・・）。

今後の要望については、徒歩圏内の地域の障害児者施設を拠点として物資配給も含め対応することや、発達障害の方々のニーズに応じたボランティアのマッチング、災害時要援護者登録等の地域での情報共有や、地域の町内会や民生・児童委員等との繋がり等、日々の生活の延長上での取組が重要であることを再確認しました。

保護者同士あるいは支援者と、さらに地域の方々と「つながる」こと、孤立化を防ぐこと、身近な地域での重層的なネットワークづくりが、今後さらに、求められることだと考えております。



「アーチル」とは「アーチ (arch: 橋)」と「パル (pal: 仲間)」とをかけたもので、センターが障害者と市民の「架け橋」になるようにとの願いを込め、市民公募によってつけていただいた愛称です。このコーナー「かけはし」は、読者の皆さんとアーチルが双方向で情報交換できるよう、皆さんや職員からのメッセージなどを掲載していきたいと思っております。



楽天イーグルスの山崎武司選手からの ご寄付により軽乗用車を購入いたしました



プロ野球、楽天ゴールデンイーグルスの山崎武司選手の後援会様のご寄付により、白の軽乗用車「スズキ アルト」を購入し、平成23年4月27日、アーチル内の駐車場でお披露目いたしました。これから、所外でのケース会議や家庭訪問などで外に出る機会が増えますので、大変感謝しております。職員一同、大切に使用まいりますので、この場をお借りしまして心より御礼を申し上げます。

仙台市南部発達相談支援室ができました！

太白区役所西側に建設中の「南部発達相談支援センター」の開設準備等を行うため、発達相談支援センター内に設置しました。南部発達相談支援センターの開設により、発達障害児者からの相談件数の増加や多様化するニーズ、若林区、太白区のみなさまの利便性向上に対応していきます。

お住まいの区域	担当する機関	所在地
青葉区、宮城野区 及び泉区	仙台市発達相談支援 センター	仙台市泉区泉中央二丁目 24-1 (現アーチル内です)
若林区及び太白区	仙台市南部発達相談 支援室	



南部アーチル完成予想図

仙台市南部発達相談支援センター「南部アーチル」の開所日時、連絡先は決定次第、市政だよりや「アーチル」のホームページ、この広報誌「ちえなっぴ」などでお知らせします。

南部アーチルに関するお問い合わせ 電話022-375-0149

編集後記

今年度開催する予定にしていた療育セミナー、基礎講座、特別講座などのアーチル主催の各種講座については、会場となるホール等が東日本大震災で被災して使用できないことから、現在は開催できない状態です。ホール等の再開状況を見ながら、開催について検討する予定です。

渡邊